図書館へいこう！

第166回直木賞芥川賞受賞作入荷！

＜直木賞受賞＞

『塞王の楯』

今村 翔吾 / 著

決して破られない石垣を造ろうとする石工。立ちふさがるのは、どんな守りも打ち破るという鉄砲職人。大津城を舞台に、信念をかけた職人の対決が幕を開ける。

『黒牢城』

米澤 穂信 / 著

織田信長に叛旗を翻して有岡城に立て籠もった荒木村重は難事件に翻弄される。村重は、土牢の囚人にして織田方の軍師・黒田官兵衛に謎を解くよう求めた。事件の裏には何が潜むのか-。

＜芥川賞受賞＞

『ブラックボックス』

砂川 文次 / 著

ずっと遠くに行きたかった。今も行きたいと思っている。自分の中の怒りの暴発を、なぜ止められないのだろう。自転車便のメッセンジャー、サクマは都内を今日もひた走る。

今月のBEST本

（12月の貸出回数上位本）

『 100 万回死んだねこ
覚え違いタイトル集 』

福井県立図書館／編著

「衝撃の巨人」→「進撃の巨人」、「100万回死んだねこ」→「100万回生きたねこ」…。
図書館の利用者がうっかり覚え違えた本のタイトルから、司書が正しいタイトルを導き出した事例集。本の情報、司書の仕事も紹介。

話題の新着本

『 母の待つ里 』　浅田 次郎 / 著

家庭も故郷もない還暦世代の３人の男女の元に舞い込んだ〈理想のふるさと〉への招待。奇妙だけれど魅力的な誘いに半信半疑で向かった先には、かけがえのない〈母〉との出会いが待っていて…。

『 少女を埋める 』　桜庭 一樹 / 著

一因習的な故郷に、男性社会からのいわれなき侮蔑に、「わたし」はいつも正論を命綱に生き延びてきた。理不尽で旧弊的な価値観に抗って生きる者に寄り添う、自伝的小説集。

『 サンセット・サンライズ 』

榆 周平 / 著

大手電気機器メーカーに勤務する西尾晋作は、海釣りが大好き。コロナ禍で業務がテレワーク化されることを機に、海に近い田舎で「お試し移住」を始め…。

『 奔流の海 』　伊岡 瞬 / 著

海辺の町を訪れたひとりの大学生。彼は夜な夜な街中を徘徊し、不審の目を向けられる。20年前に町を襲った豪雨、事故死した父、すべてがひとつに繋がるとき…。青春ミステリー。

『 その日まで 』　瀬戸内 寂聴 / 著

百歳近く生きつづけて、最も大切なことは、自分の生きざまの終わりを見とどけることだけであった-。切に愛し、いのちを燃やし、ペン一筋に生き抜いた瀬戸内寂聴99歳、最期の長篇エッセイ。

『 六つの村を越えて髭を
なびかせる者 』　西條 奈加 / 著

江戸中期、蝦夷地見分隊に随行した最上徳内。雄大で厳しい自然の中で、アイヌの少年や長たちと交流する徳内は、アイヌを虐げ、搾取する松前藩に怒りを覚え…。歴史長編。

三角山放送局
FMラジオ「情報わっさむ」毎週火曜日放送中！　詳しくは町HPで